

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情の審査が9月20日、21日及び22日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、9月25日に横田基地対策特別委員会、9月8日及び25日にまちの魅力づくり対策特別委員会が行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

建設環境委員会

9月20日に委員会が開催され、5件の議案を審査し、原案のとおり可決・認定されました。

◇福生市営住宅条例の一部を改正する条例について

問 入居者の資格要件の緩和ということであるが、他市の状況はどうなっているのか。

答 30市町村中、福生市を含め9市2町が同様の内容を改正予定で、そのうち4市2町が9月議会での条例改正を予定している。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)(建設環境委員会所管分)



▲無電柱化整備が予定されている本町通り

レンジ支援事業について、もう少し詳しく伺いたい。

答 無電柱化することによる効果は3点あり、本事業はこれらの効果を目指すものである。1点目は、地震などの大規模災害により、電柱等が倒壊することによる道路の閉塞を防止する。また、耐震性が向上することも期待できる。2点目は、道

路上の構造物をなくすことで通行空間の安全性、快適性を確保する。3点目は、景観の阻害となる電柱や電線をなくし、良好な景観を形成する。

◇平成29年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 フレンドシップパーク周辺の冠水状況はどうだったのか。

答 床下浸水が起こっており、早急に手当てをする必要があると判断している。

問 下水道事業積立金の目安について伺いたい。

答 長寿命化事業に必要な将来の更新事業費として16億円を目標としているが、今後は昭和の時代に整備した管渠の更新が予想されることや、雨水

市民厚生委員会

9月21日に委員会が開催され、6件の議案を審査し、原案のとおり可決・認定されました。また、1件の陳情が採択となりました。

◇平成29年度福生市一般会計補正予算(第3号)(市民厚生委員会所管分)

問 保育所運営事業、認定こども園施設型給付事業、地域型保育給付事業の増額についての理由は。

答 保育園の定員と児童の年齢ごとに定められた公定価格が、平成29年度予算策定後に決定、新たな処遇改善加算も盛り込まれたことによる。

問 学童クラブ委託料増額で行われた指導員増員の内容及び今後の児童の受け入れの見通しは。

答 さくらクラブと臨時第2たんぼクラブで増

員した。定員を超過しており、厳しい状況である。◇平成29年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

問 前年度繰越金の額が大きくなった理由は。

答 国・都からの交付金が予算より約2億800万円多く、保険給付費が約7500万円少なかったことが主な要因である。

◇平成29年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 介護給付費準備基金の状況は。

答 平成28年度の剰余金1億6027万6千円を基金へ積み立て、基金残高は4億470万9056円となる。

◇平成28年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

問 保険税の収納率向上への取り組みは。

答 財産調査の強化を図り、下半期からは催告書の運用を見直し段階を追って文面と封筒の色合いを変えていく工夫や、夜間臨戸の強化を行った。

問 国民健康保険加入世帯数減少の理由は。

答 被用者保険適用拡大の影響と見ている。

問 その他一般会計繰入金金の被保険者1人当たり金額と他市との比較はどうか。

答 被保険者1人当たりの金額と順位は、福生市4万988円で26市中4

位、26位は小金井市の1万1657円であった。

問 後発医薬品利用差額通知事務費の増の要因は。

答 通知回数が増え、増やし、差額通知の調剤の対象範囲を拡大したことが主な要因である。

◇平成28年度福生市介護保険特別会計決算認定について

問 一般介護予防施設事業の複合型介護予防教室及び地域介護予防活動支援事業の成果について。

答 元気はつらつ教室を市内4箇所で行い、介護予防に役立つ必要な基礎知識の講話、筋力向上の要素を入れた体操、口腔機能向上、低栄養予防に

関する演習、実技指導、脳トレ体操などを実施した。地域介護予防活動支援事業は、町会や老人クラブ、小地域福祉活動などの場に運動指導員を派遣する介護予防に大変効果のある事業である。

◇平成28年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について



▲解体が予定されている第一給食センター

問 コンビニエンスストア収納の利用状況は。

答 納付書による納付は限られているが、利便性の充実も本事業開始の目的の一つと考えている。今後周知が行き渡ることで、利用率は上がっていくものと分析している。

問 新扶桑会館整備事業



▲骨髄バンクドナー登録のしおり

◇骨髄移植ドナー支援制度策定に関する陳情書

ドナーを支援し負担軽減するためにも、採択したいとの意見があり、全会一致で採択となりました。

問 新扶桑会館の変更による工事スケジュール、現扶桑会館解体スケジュール及び市民への影響は。

答 新扶桑会館は平成31年3月に完成予定。現扶桑会館については平成31年秋頃から現消防署に合

わせて解体するので利用者への影響はない。

問 再編交付金後の財源確保について経過は。

答 市長自らも先頭にた

って何度も国に足を運び要請を行った結果、環境整備法第8条の助成事業になった。

問 第二給食センター解体事業への補助金、及びふるさと人づくりまちづくり寄附者の内訳は。

答 来年度の補助金に関しては全く未定、寄附者5件の内訳は個人で市内が1人、市外が1人、法人は3件でいずれも市外である。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。